

障害のある芸術家たちの絵画展



●絵画展

ドイツのビーレフェルト市にある総合社会福祉施設「[ベートル](#)」から運ばれた51点の絵画が巡回展示されます。ベートルは1867年、てんかんをもつ人々をケアするためにキリスト教社会奉仕事業の一環として創られた世界で最古そして最大の社会福祉施設です。どのような境遇にある人であれ、人としての尊厳をもち、社会に対して貢献するという理念に基づいて、存在場所と個々人に適切な援助の提供が行われ、現在、8000人以上の人々が10000人以上のスタッフによってケアを受けています。ベートルには、これまで人生の一部をこの施設ですごした人々の芸術活動を支える「芸術家の家リュッダ」があり、障害をもつ芸術家たちが描いた多くの作品が所蔵されています。このたび、「日本におけるドイツ年」の一環として、絵画展が日本の各地で開催されることになりました。ヨーロッパで高い評価を受けているこれらの絵画を、是非ご鑑賞ください。東京展では皇后さまも鑑賞されました。

主催：ベートル・フォン・ボーデルシュヴィング
総合社会福祉施設（ドイツ）

共催：静岡てんかん神経医療センター、とちぎ日独協会、日本てんかん協会（社）、ドイツノルトライン・ヴェストファーレン州政府

後援：外務省、ドイツ外務省、ドイツ大使館、ドイツ学術交流会、ゲーテ・インスティテュットチュート、国際交流基金、日独協会（財）、日本チャリティ協会（財）、その他

協賛：西濃シェンカー（株）、その他多くの方々

連絡先：静岡てんかん神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

Tel: 054-245-5446 内線3280（石上）, Fax: 054-247-9781

東京展

平成18年3月6日（月）～13日（月）

千代田区ギャラリーパレス

群馬展

平成18年3月18日（土）～4月1日（土）

富弘美術館

栃木展

平成18年4月3日（月）～16日（日）

宇都宮市NHKギャラリー

静岡展

平成18年4月21日（金）～30日（日）

静岡アートギャラリー

京都展

平成18年5月2日（火）～13日（土）

京都ドイツ文化センター

岡山・新見展

平成18年5月16日（火）～30日（火）
新見美術館
岡山・高梁展
平成18年6月3日（土）～11日（日）
文化交流館ギャラリー